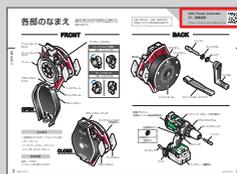


## NSC パワーアッセンダー取扱説明書

# Falcon



本書掲載のQRコード・URLから、取扱説明動画がご確認いただけます



CHECK

NSC Power Ascender  
Q1 取扱説明書  
<https://youtu.be/W7w0kxL70k>



※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

各部のなまえ .....	2	はじめに
必要機材／付属品／別売品 .....	4	
安全上のご注意 .....	5	
事前準備 .....	10	
使用前の点検 .....	12	使いかた
登高手順 .....	14	
下降手順 .....	18	
ディッセンダーへの切り替え .....	24	
定期点検／お手入れ／保管 .....	28	こんなときは
諸元表 .....	30	
アフターサービス .....	31	

- ・このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ・本書では、製品の正しい使用方法及び点検方法を説明しています。ご使用前に必ずお読みいただき、取扱説明動画(QRコード参照)を視聴の上、使用方法を習得し、正しく安全にお使いください。
- ・最新の情報やその他の補足情報は下記で参照できますので、定期的に確認してください。  
<https://nsc-power-ascender.kentechsystems.net/product-info/>
- ・警告および注意事項に留意し、製品を正しく使用することは使用者の責任です。  
本製品の誤使用は危険を増加させます。
- ・本書内で使用されている充電ドライバーは、Hikoki製 充電ドライバー DS36DA(2XP)です。

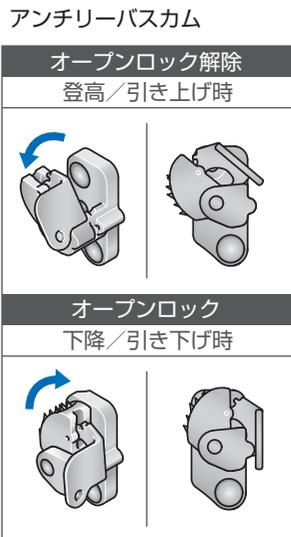
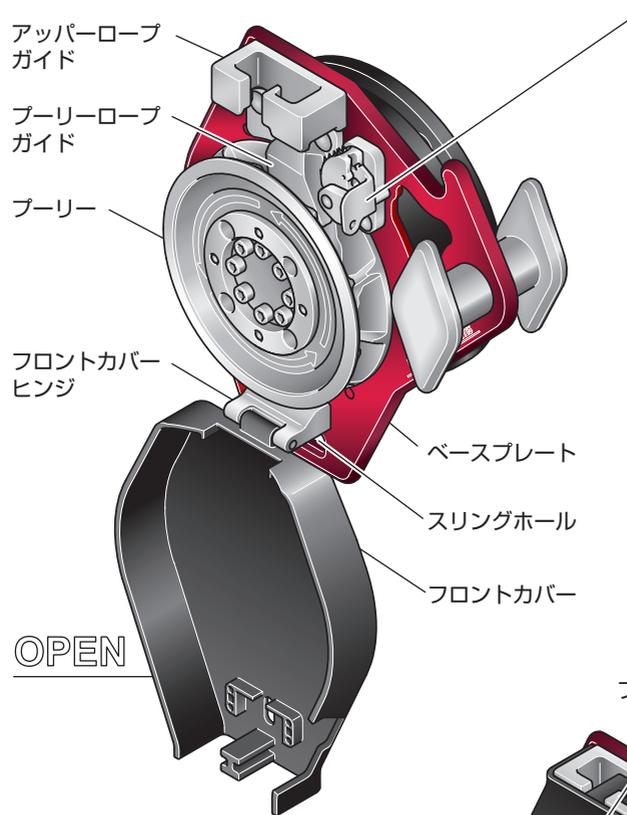
# 各部のなまえ

本製品は動力別体式登高器及び下降器です。  
資材や人の引き上げ・引き下げ器具としても  
使用可能です。



正転：時計回り 逆転：反時計回り  
※登高・引き上げ時の回転は逆転です。

## FRONT



OPEN

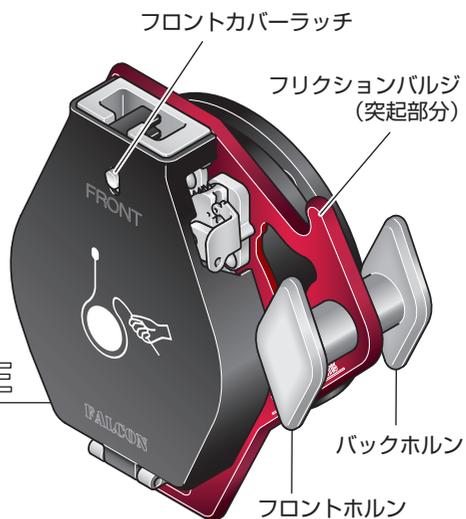
### 主な素材

- ・主要部品(ギヤ以外)：アルミニウム合金
- ・ギヤ：スチール
- ・アンチリバースカム：ステンレス
- ・カバー類：ポリカーボネート

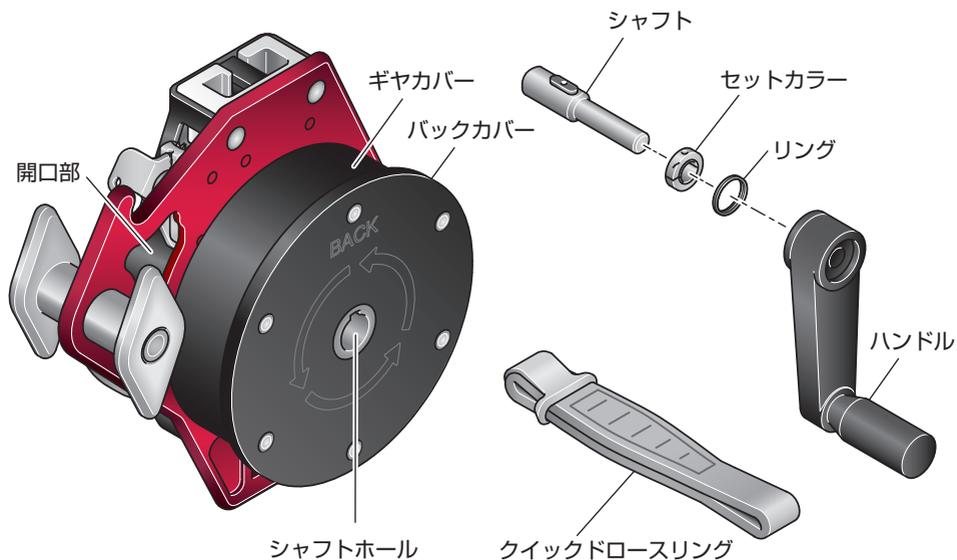
### 運用荷重

通常：1.35kN  
(レスキュー時に限り2.0kN)

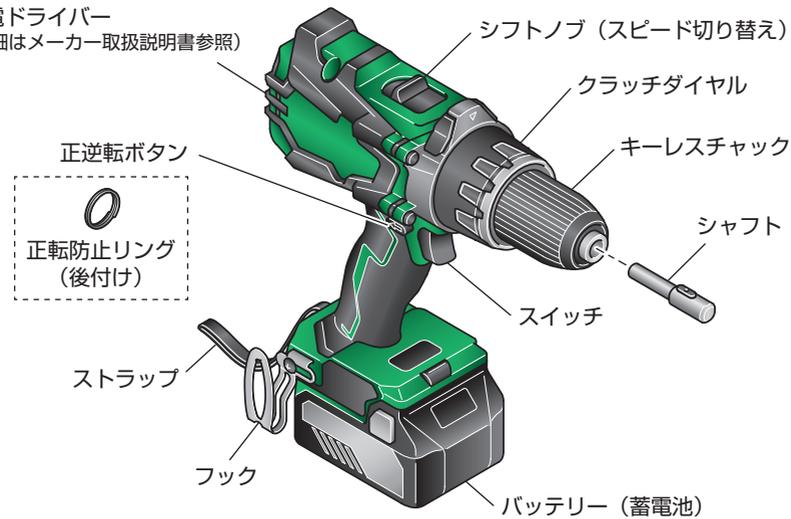
CLOSE



## BACK



充電ドライバー  
(詳細はメーカー取扱説明書参照)



# 必要機材 / 付属品 / 別売品

必要機材	数量
NSC パワーアッセンダー (本製品)	1
充電ドライバー	1
SRT (シングルロープテクニク) 登下降システム	1
フォールアレストシステム (エネルギーショックアブソーバー付きモバイルフォールアレスターおよびライフライン)	1
ランヤード	5
4倍力 システム (4:1 のメカニカルアドバンテージシステムで構成されたホーリングキット)	1
スチール製オーバル型クイックリンク (マイロン)	1

付属品	数量	別売品 (販売価格)
専用アルミケース	1	5,000 円 / 個
クイックドロースリング	1	800 円 / 個
ハンドル	1	3,000 円 / 個
シャフト	2	10,000 円 / 本
セットカラー	1	500 円 / 個
リング	本製品のみ購入	20 円 / 個
	本製品 + 充電ドライバー購入	2
パワーロープ 3mm 1.2m	1	200 円 / 本
取扱説明書 (本書) ※弊社ホームページからもダウンロード可	1	—
使用前点検表 ※弊社ホームページからもダウンロード可	1	—

※充電ドライバーの付属品は、充電ドライバーに付属の取扱説明書をご確認ください。

# 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や第三者への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 本製品の使用に関する重要事項及び注意事項に関しては、警告のマークがついています。重要事項及び注意事項は次のように区分けされ、全て重要な内容ですので必ずお守りください。

## 危険や損害の程度を表すマーク

-  **危険** 記載されている内容を守らなければ、ロープの切断や墜落により、人が死亡または重傷を負う危険がある事項
-  **警告** 記載されている内容を守らなければ、ケガや障害事故の生じる危険がある事項
-  **注意** 記載されている内容を守らなければ、ケガや障害事故並びに製品が故障する危険のある事項

## 守っていただく内容の種類を表すマーク

-  してはいけない「禁止」の内容
-  必ず実行していただく「強制」の内容

- 本書では、本製品を使用するための技術や使用方法に関して、いくつかの例を掲載しています。ただし、製品の使用に関連する危険に関して、全てをここに網羅することはできません。
- 本製品の使用及び本製品を使用する全ての活動には危険を伴います。使用者はその危険について理解してください。
- 本製品の使用者が自分自身の行為、判断、および安全の確保について責任を負い、またそれによって生じる結果についても責任を負うこととします。自分自身で責任が取れない場合やその立場にない場合、また本書の内容を理解できない方は使用しないでください。
- 本製品の使用前に必ず本書を熟読及び取扱説明動画を視聴し、本製品の機能とその限界について理解し正しく使用してください。
- 本製品を使用する前に取扱説明動画に則って、必ず登下降の訓練を行ってください。
- 本製品の使用方法がわからなければ、ケンテックシステムズ (TEL049-241-8364) に連絡し、正しく使用するための適切な指導を受けてください。
- 本製品は使用方法を熟知して責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲にて直接指導を受けられる人のみが使用してください。
- 本書に記載されている注意事項を無視または軽視すると、重度の障害を負うまたは死亡する危険があります。

## ⚠ 危険



禁止

アンチリバースカムがオープンロック解除された状態（メインロープにアンチリバースカムの爪が刺さっている状態）で、バック側から見て、ハンドルや充電ドライバーを用いてギヤを正転（時計回り）に回転させない

アンチリバースカムがロープを食い破り、ロープを切断し墜落する危険があります。（充電ドライバーは正転防止用ロックがされているものを使用してください。）

フロントカバーが開いたままの状態で使用しない

プーリーからロープが外れ墜落する危険があります。

下降時にアッパーロープガイドから繰り出されてくるメインロープをフロント側へ引き出さない

フロントカバーが割れ、メインロープがプーリーから外れ墜落する危険があります。必ず、メインロープはアッパーロープガイドのバック側へ引き出し、バックホルンに掛けてください。



必ず実行

ライフライン及びモバイルフォールアレスターを別途セットアップする

本製品は個人保護用具（personal protective equipment）ではありません。

使用前点検を行い、ボルトなどの緩みがないことを確認する

ロープが外れ、墜落する危険があります。

※特にプーリーの突起及びアンチリバースカムの爪の状態をチェックしてください。突起や爪がすり減った状態で使用すると、ロープが滑り墜落する危険があります。



必ず実行

使用前に充電ドライバーのトルクを適正な値に合わせる

適正なトルク管理が行われていれば、指定トルク値以上の力が充電ドライバーに掛かった場合、クラッチの作用で空回りしてそれ以上は巻き上げません。しかし、充電ドライバーのクラッチダイヤルで適正なトルク管理を行わずに充電ドライバーをドリルモードで使用すると、人体の損傷、本製品の破壊、もしくはロープが切断されるまでロープを巻き上げ続けます。

クイックドロースリングの消耗具合を確認し、縫製のほつれなどがある場合は使用を中止し、新しいものに交換する

クイックドロースリングは消耗品です。クイックドロースリング自体の繊維に問題がなくても、縫製が切れれば分解し墜落する危険があります。

レスキュープランを立ててから作業を行う

使用中に意識を失うもしくは動きの取れない状態になった場合、最短 15 分で重度の傷害を負うまたは死に至るおそれがあります。（サスペンションイントレランス）

使用中に異常（異音、振動、不定回転など）を感じた場合は、直ちに使用を中止する

ケンテックシステムズまでご連絡ください。（TEL049-241-8364）

## ⚠ 警告



禁止

ハンドルを取り付けた場合、取り外すまで手を離さない

荷重が掛かっている状態でアンチリバースカムをオープンロックすると、ハンドルに正転（時計回り）の力が働いて急回転し、手や顔に当たり骨折や失明などのケガをする危険があります。

だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しない

回転部に巻き込まれ、首が絞まり窒息するおそれがあります。

下降中にメインロープから右手を離さない

下降スピードが上がり、地面に衝突する危険があります。



必ず実行

長い頭髪は束ねてヘルメット内に納める

頭髪をプーリーに巻き込まれ、頭皮が剥けるおそれがあります。

## ⚠ 注意



禁止

充電ドライバーのクラッチダイヤルは「22」と「ドリル」の間にしない  
充電ドライバーが故障します。（詳しくは、充電ドライバーの取扱説明書を参照ください。）

使用中に第三者を近づけない



必ず実行

推奨充電ドライバーのクラッチダイヤルは最大 18 で使用する

本製品は充電ドライバーのクラッチダイヤルによるトルク管理ができます。推奨充電ドライバーのクラッチダイヤル 9 で 1kN、クラッチダイヤル 18 で 2kN の換算です。クラッチダイヤル 18 でもクラッチが効きガチガチ音がして登高もしくは引き上げができないときは、クラッチダイヤルの目盛りを段階的に 22 まで上げてください。（基本的に、ドリルモードでの使用は禁止です。クラッチが効かないためシステムに過度の負担が掛かり、システムが破壊する危険があります。）

充電ドライバーの使用中は、キーレスチャックの周りにスリングやロープがないことを確認する

摩擦熱でスリングやロープが熔解し切断される危険があります。

他の登下降システムの機能を妨げないことを確認する

本製品以外の登下降に使用する機材が使用する国における最新の規格に適合していることを確認する

許容された荷重内で使用する

本製品が過熱し故障及びロープにダメージを与えるおそれがあります。（通常運用荷重は 1.35kN（レスキュー時に限り 2kN）です。）

## ⚠ 注意



**必ず実行** 本製品とフルハーネス（もしくは支点）とを接続するカラビナは、トライアクトロックタイプを使用する

※キャプティブ付きを推奨します。

### 適合ロープを使用する

本製品の適合ロープは、欧州統一規格 EN1891 11mm セミスタティックロープ 伸び率 3% 以下です。

※ロープの直径が同じ 11mm でも、ロープの使い方、掛かっている荷重、メーカーの違い、ロープの状態（濡れているまたは凍っている）等で、ロープが本製品内で空回りすることがあります。

### ロープは常に清潔に保つ

砂などの付着したロープを使用すると、本製品の消耗が早まります。

※本製品の材質はアルミ材が主体のため、アルミ材の粉がロープに付着しロープが黒ずむことがあります。使用に関しては問題ありません。

### ロープがプーリー内部に完全に入っていることを確認してからフロントカバーを閉じる

プーリーにロープを巻き掛けた状態で、ロープがプーリー内部に完全に入りきっていないときにフロントカバーを無理に閉じるとフロントカバーが破損します。

### 登高中は常にアンチリバースカムのオープンロックが解除されていることを確認する

思わぬ振動などによりアンチリバースカムがオープンロックする可能性があります。



**必ず実行** 登高中は、アンチリバースカムのオープンロックが解除され、アンチリバースカムがメインロープに当たっていることを確認する

アンチリバースカムがオープンロックの状態では充電ドライバーを停止すると、全ての荷重が充電ドライバーに掛かり、正転方向（時計回り）に過大な力が働きます。（充電ドライバーは正転、本製品は下降しようとしています。）その力が充電ドライバーの許容荷重を超えると、充電ドライバーが故障します。

### 連続使用するときには、諸元表に記載された距離数を守る

定められた距離数以上の連続使用をするときは、間に 10 分間の休憩を入れてください。

### ライフラインにはウエイトを取り付けるなどして、モバイルフォールアレスターより上部のライフラインがたるまないようにシステムを構築する

本製品の操作には両手を必要とするため、ライフラインのたるみを取ることが難しくなります。

### メインロープはたるませず、常にテンションが掛かった状態を保つ

衝撃荷重が掛かるのを避けるためです。

※本製品に荷重が掛かった状態で空中に制止してるとき、アンチリバースカムのロックを解除し、フロント及びバックホルンからメインロープを取り外し、右手からメインロープを離すと、下降を始めます。下降スピードは、そのときの荷重と気温により変動しますが、エイト環のように自由落下することはありません。（下降時に本製品から両手を離れたときに下降を自動で止めるため



**必ず実行** には、あらかじめ上部にブルージックロープをセットしておく必要があります。）

※下降スピードは、ギヤ内部の温度により変化し、ギヤ内部の温度が高くなればなるほど下降スピードは速くなります。（外気温が高いときも下降スピードが速くなります。）

### 本製品を落下させた場合は使用を中止し、必ずケンテックシステムズでの検査を受ける

充電ドライバーは、各充電ドライバーメーカーの使用 방법에従い取り扱う

### 防護手袋を着用する

※防護手袋は、革製で薄手のものが好ましいです。

### 指定の付属品を使用する

使用中に壁などにぶつけないよう細心の注意を払う

使用しないときは、付属の専用アルミケースに入れて保管する

レスキューに使用するときには、国内大手講習機関のレスキュー講習を受ける

（例：弊社 NSC レスキュー講習など）

使用する国の法律に従って作業を行う

ロープ高所作業は法律により悪天候時の作業中止基準が定められています。

## ⚠ 注意



**必ず実行** 過度なほこりのあるところ、水中、常に雨にさらされるところでは使用しない

ほこりや水に対する影響が小さくなるように設計（IP55 相当の防塵・防水性能を保有）していますが、故障しないことは保証しておりません。

〈IP 保護等級の例〉

IP5X：有害な影響が発生するほどの粉塵が中に入らない（防塵形）

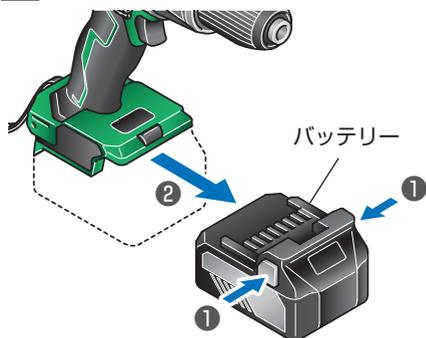
IPX5：あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない（防噴流形）

# 事前準備

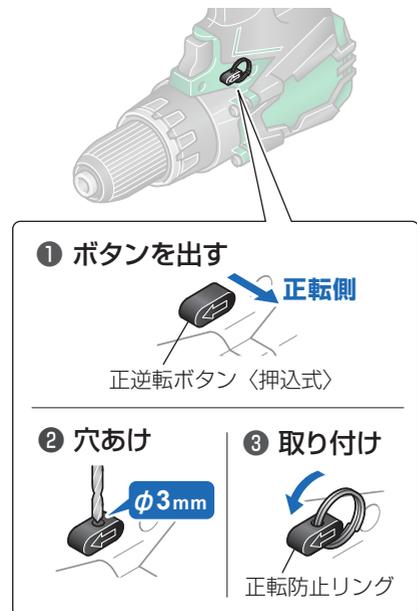
※正転防止ロックおよび落下防止ロックは確実に実施してください。  
(ロープ切断および充電ドライバーが落下し、人や物を傷つけるおそれがあります。)

## 1 正転防止用ロック処置

### 1 バッテリーの取り外し



### 2 正転防止リングの取り付け



### 3 バッテリーの取り付け

正転方向(時計回り)に回転しないことおよびバッテリーが外れないことを確認する。

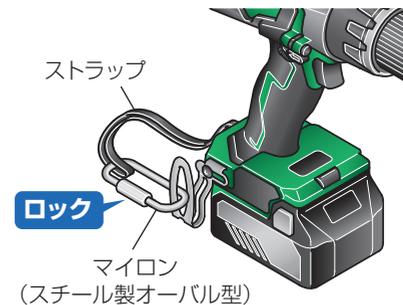
## 2 落下防止処置

### 充電ドライバー

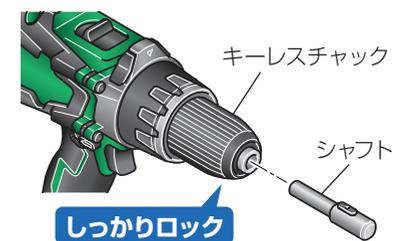
### 1 フックの取り付け



### 2 マイロンの取り付け

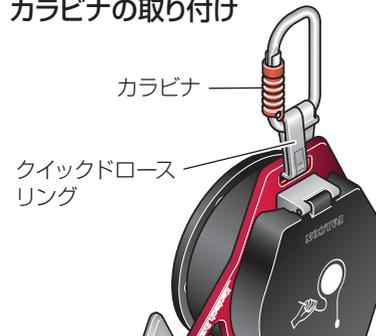


### 3 シャフトの取り付け



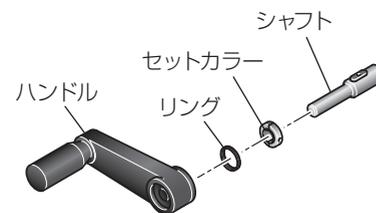
### 本製品

### 1 クイックドロースリングとカラビナの取り付け

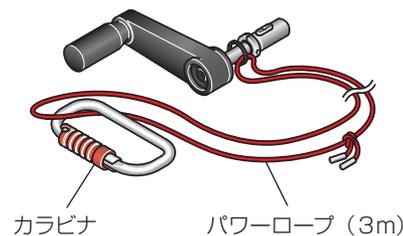


### ハンドル

### 1 シャフトの取り付け



### 2 パワーロープの取り付け



## 3 レスキュープランの作成

### 1 レスキュープランの作成

### 2 レスキューに必要な装備の準備

※問題が生じたときに速やかに対処できるようにしてください。

MEMO



# 登高手順

正転：時計回り 逆転：反時計回り  
 ※登高・引き上げ時の回転は逆転です。

NSC Power Ascender  
 02\_ 充電ドライバーの下準備  
<https://youtu.be/7MWiFPtXNk8>

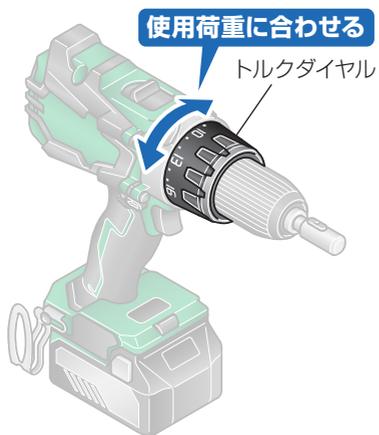


NSC Power Ascender  
 03\_ 登高手順  
<https://youtu.be/VKUcgWE1uYA>



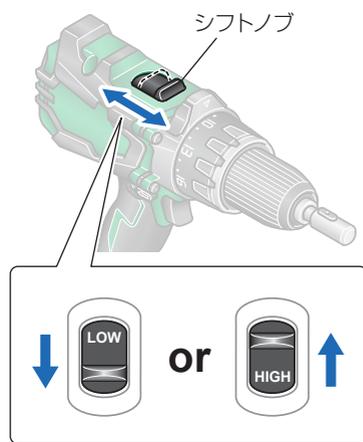
## 1 充電ドライバーの下準備

### 1 トルクダイヤルの設定



※推奨充電ドライバーの場合、トルク値 9 = 1kN、トルク値 18 = 2kN として計算してください。

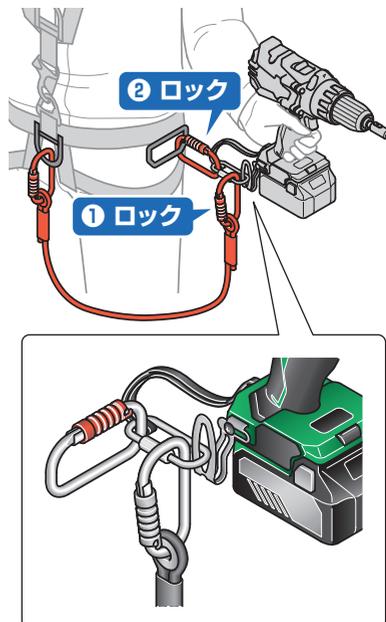
### 2 シフトノブの設定



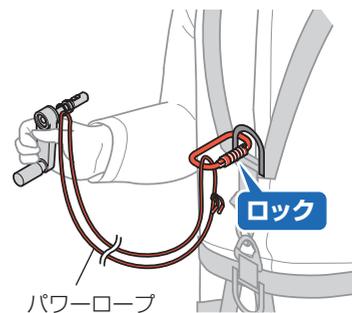
※「HIGH」の場合、荷重 0.85kN で登高スピードが 15m/分となります。

## 2 落下防止措置

### 1 充電ドライバーの装着

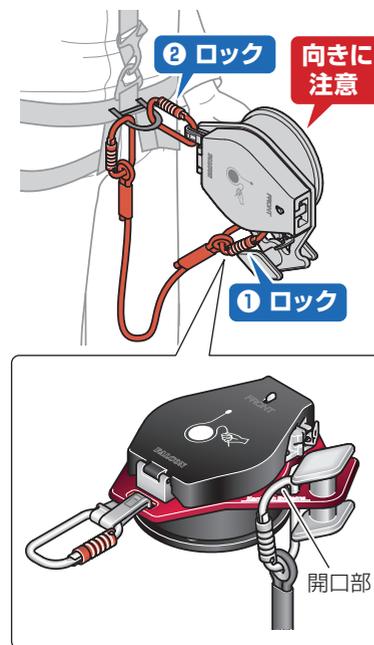


### 2 ハンドルの装着



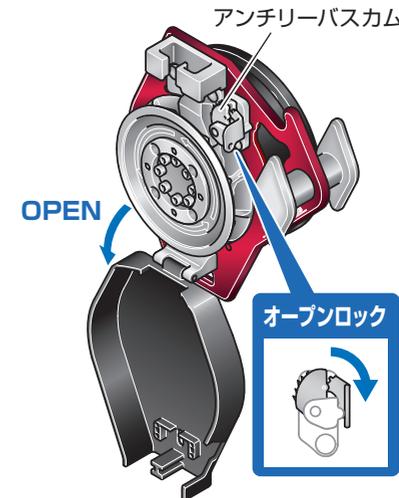
※首が絞まる危険があるため、パワーロープは首に掛けしないでください。

### 3 本製品の装着

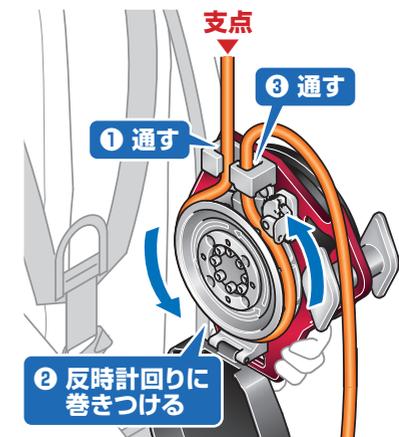


## 3 本製品の取り付け

### 1 アンチリバースカムのオープンロック



### 2 本製品の取り付け

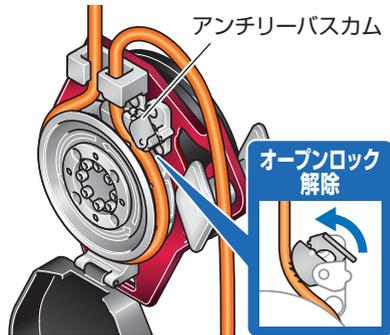


※右手でメインロープ、左手で本製品を持ち、ロープがたるまないように巻き掛けてください。

正転：時計回り 逆転：反時計回り  
 ※登高・引き上げ時の回転は逆転です。

## 4 登高動作チェック

### 1 アンチリバースカムのオープンロック解除

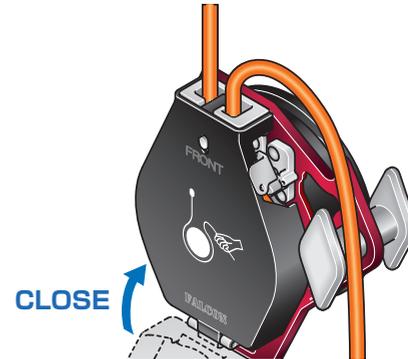


### 2 メインロープのロック確認

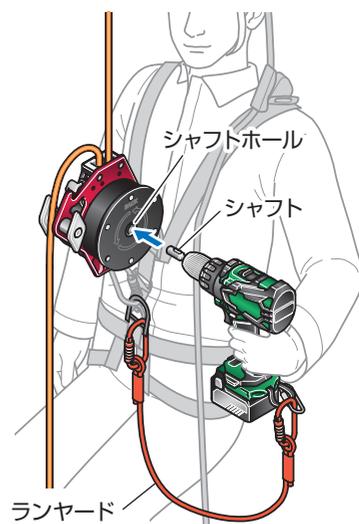


※フロントカバーは閉めずにチェックしてください。  
 ※プーリーが正転(時計回り)に回転もしくはロープがプーリー内を空回りする場合は、使用を中止し、弊社へ修理を依頼してください。

### 3 フロントカバーを閉める

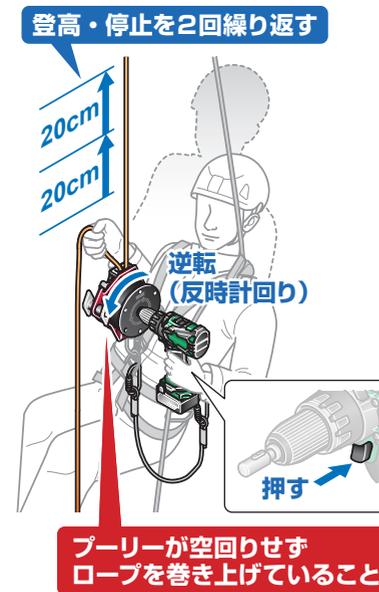


### 4 充電ドライバーの差し込み



※充電ドライバーにランヤードが接続されていることを確認してください。

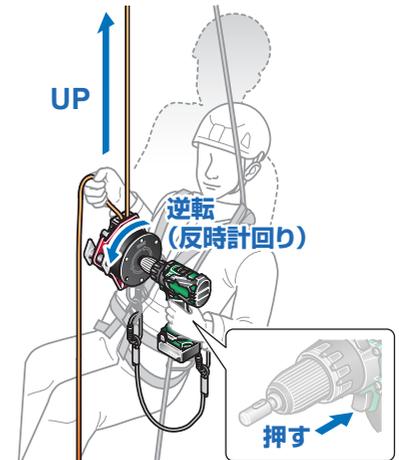
### 5 ロープの巻き上げ確認



※充電ドライバーは左手でしっかりと持ち、正転方向(時計回り)の力に対抗してください。

※本製品から繰り出てくるロープに傷が付いていないことを確認してください。傷が付いている場合は、使用を中止し弊社へ修理を依頼してください。

## 5 登高



※充電ドライバーのスイッチはゆっくりと操作してください。

※登高中、右手は本製品から押し出されてくるメインロープを引き出すように持ち、メインロープがプーリー内でたるまないように注意してください。

## 6 停止



※充電ドライバーのスイッチを押すと、再登高できます。

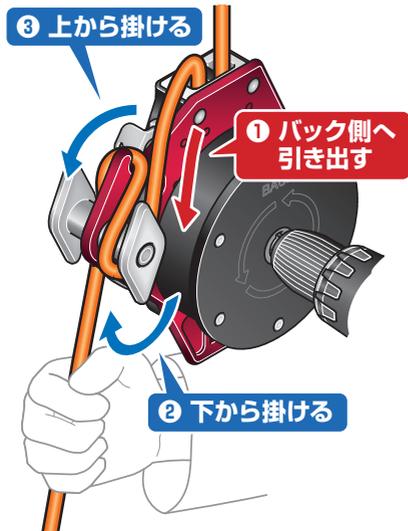


正転：時計回り 逆転：反時計回り

# 下降手順

※ 停止状態からの説明です。

## 1 メインロープのロック

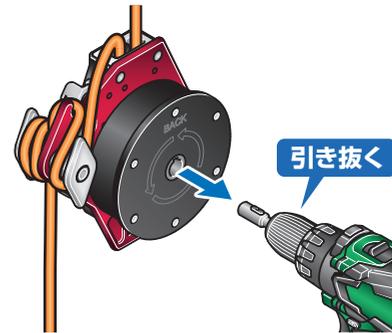


※メインロープをフロント側へ引き出さないでください。フロントカバーが割れてメインロープがプーリーから外れ墜落する危険があります。



## 2 充電ドライバーの取り外し

### 1 充電ドライバーの取り外し

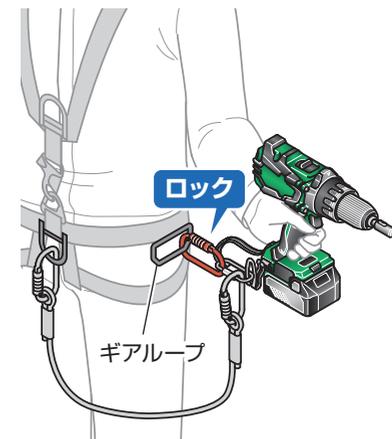


※ロープの伸びの分、正転方向(時計回り)の力が働いており、充電ドライバー自体が回転しようとするため注意してください。

### 充電ドライバーが引き抜けられない場合

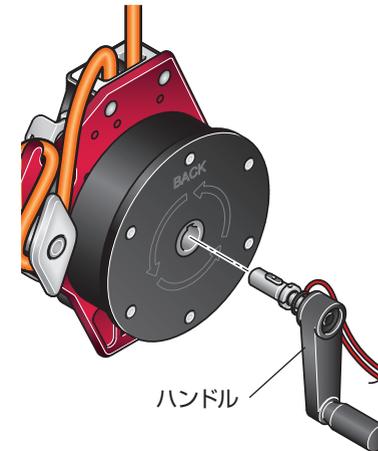
充電ドライバーをバック側から見て正転方向(時計回り)に回転させる。

### 2 ギアリングへ取り付け

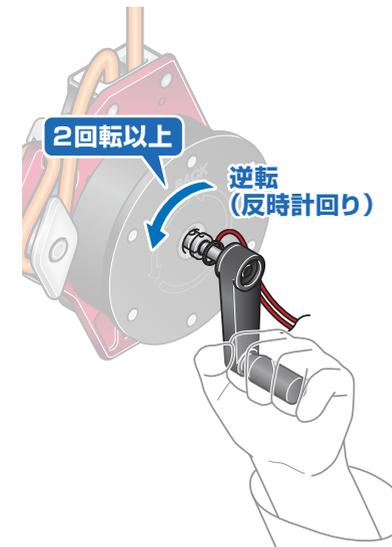


## 3 本製品に掛かっている荷重の除去

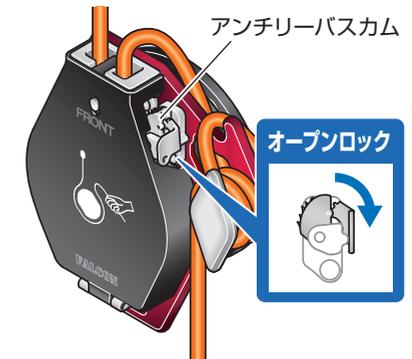
### 1 ハンドルの取り付け



### 2 アンチリバースカムに掛かる荷重の除去

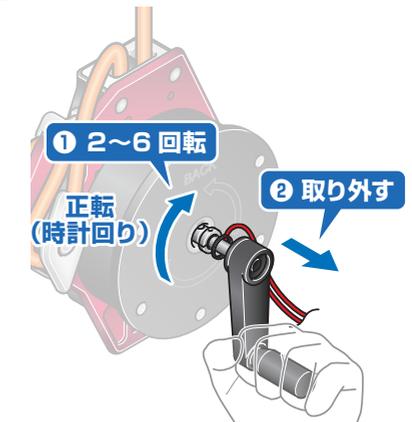


### 3 アンチリバースカムのオープンロック



※ロープの伸びの分、正転方向(時計回り)の力が働いており、ハンドル自体が回転しようとするため注意してください。

### 4 ハンドルに掛かる荷重の除去



※荷重が抜けるまで、ハンドルから手を離さないでください。

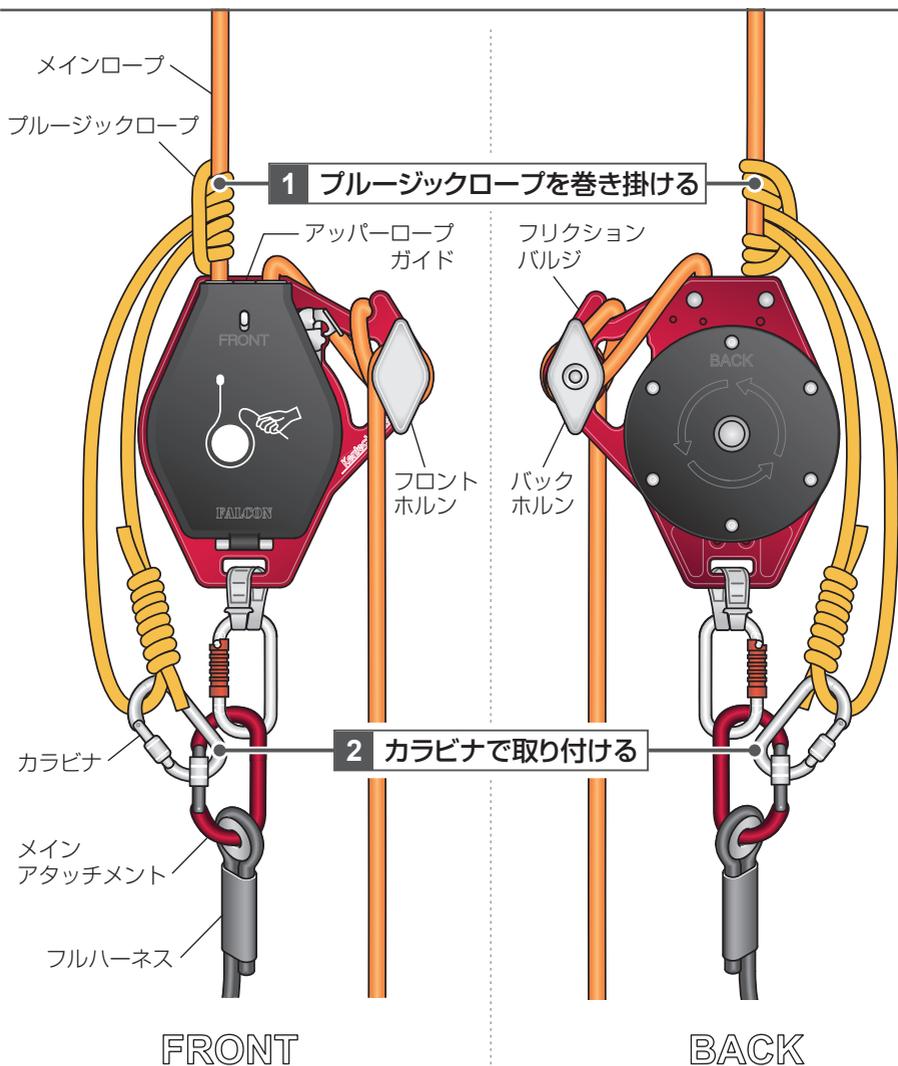
### 5 ハンドルをポケットに収納



## プルージックロープによる下降時自動停止システム

※ ハンドルを取り外し収納している状態(下降手順 3)からの説明です。

### 1 プルージックロープの取り付け ※プルージックロープは別途手配してください。



下降手順

### 2 下降と停止

#### 1 メインロープを持つ

※左手はプルージックロープ上部、右手はアッパーロープガイドから出ているメインロープをしっかりと持ってください。

#### 2 メインロープをフロントホルンからほどく

#### 3 下降する

※フリクションバルジ及びバックホルンの摩擦抵抗と、右手の握力で下降速度を調整しながら下降します。

#### 4 下降中に両手を離す

※両手がメインロープおよび本製品から離れると、プルージックロープが効いて自動で下降が停止します。

### 3 再下降

両手でプルージックロープを下に引き込む

#### プルージックロープが緩まない場合

#### 1 ハンドルを差し込んで逆転させ、メインロープを巻き上げる

#### 2 プルージックロープが緩んだら、メインロープを前後のホルンにロックする

#### 3 ハンドルを取り外す

※正転方向(時計回り)の力がハンドルに掛かっているため、荷重に合わせて正転方向に回転させてください。

#### 4 メインロープを持ち、再下降する

※左手はプルージックロープ上部、右手はアッパーロープガイドから出ているメインロープをしっかりと持ってください。

下降手順

#### プルージックロープが付いている状態で登高する場合

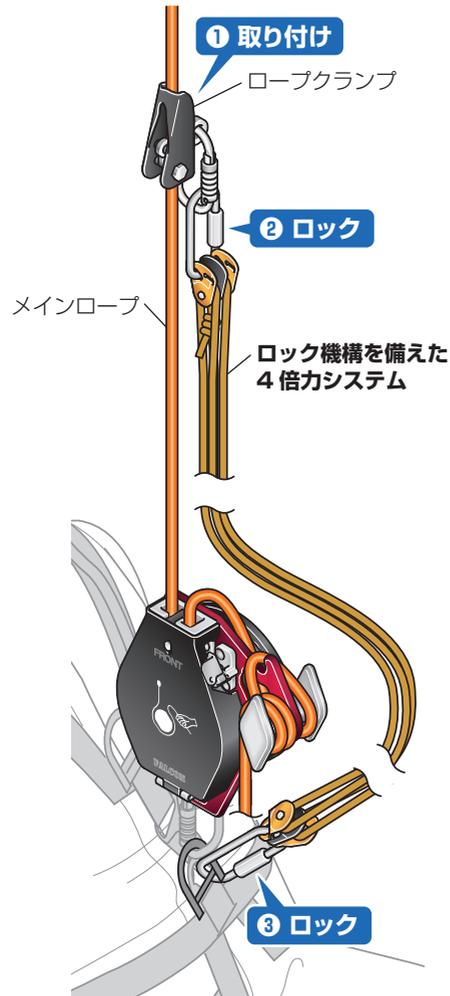
プルージックロープが充電ドライバーのキーレスチャックに触れていないことを確認してください。(プルージックロープがキーレスチャックとの摩擦熱で溶けて切断するおそれがあります。)



※停止状態からの説明です。

# ディッセンダーへの切り替え

## 1 4倍カシステムの取り付け



※ロープクランプは爪付きではなく、1ポイントのビレイとして考えられるものを使用してください。  
(例: ベツル製シャント)

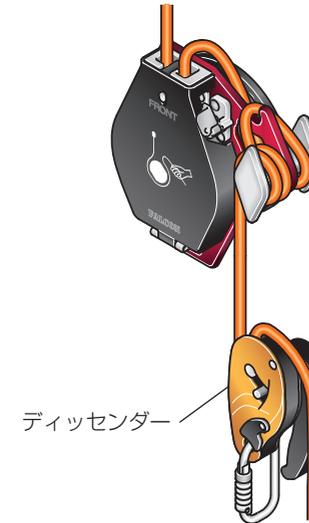
## 2 ディッセンダーへの切り替え

### 1 4倍カシステムへの荷重移動

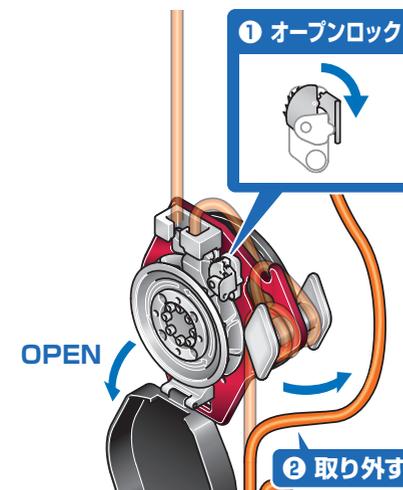


※本製品に掛かっている荷重を4倍カシステムへ移します。

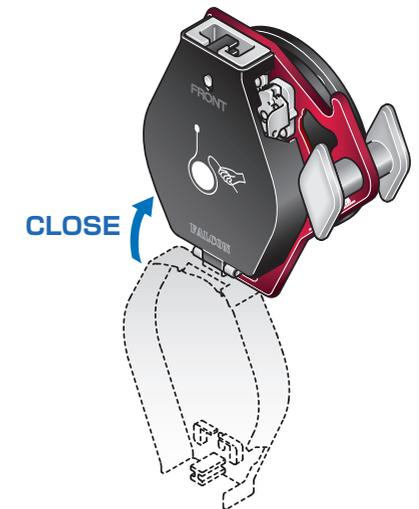
### 2 ディッセンダーの取り付け



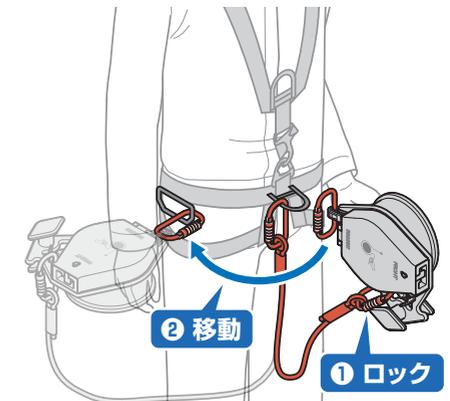
### 3 メインロープの取り外し



### 4 フロントカバーを閉める



### 5 本製品の取り外し



※充電ドライバーが接続されているランヤードとは別のランヤードのカラビナを本製品の開口部に掛けて、落下防止処置をしてください。

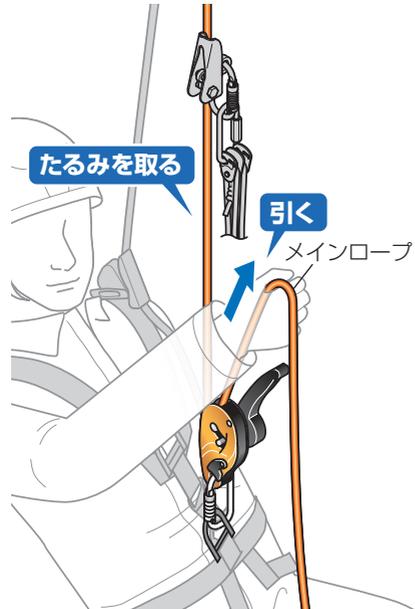
ディッセンダーへの切り替え

ディッセンダーへの切り替え

正転：時計回り 逆転：反時計回り  
 ※登高・引き上げ時の回転は逆転です。

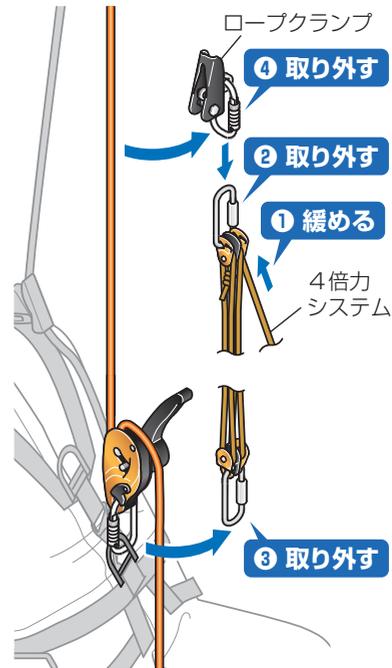
### 3 4倍カシステムの取り外し

#### 1 ディッセンダーへの荷重移動

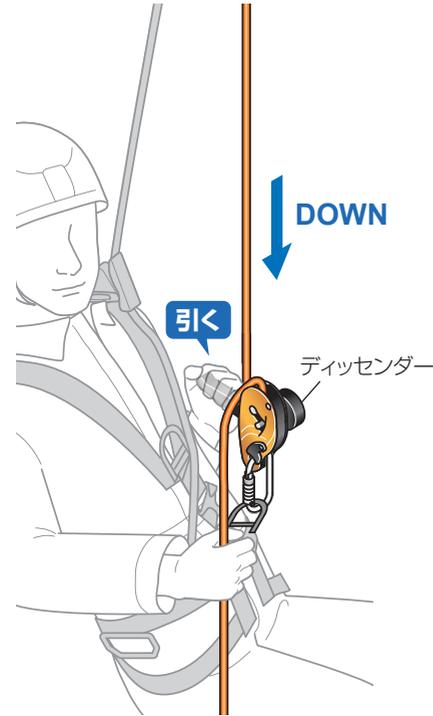


※4倍カシステムに掛かっている荷重をディッセンダーに移します。

#### 2 4倍カシステムの取り外し



### 4 下降



#### アッセンダーへの切り替え

##### 1 ディッセンダーの取り付け

※「ディッセンダーへの切り替え 1・2」参照。

##### 2 チェンジオーバーを行い、ディッセンダーからアッセンダーへ切り替え

##### 3 アッセンダーで登高

#### 資材や人の引き上げ／引き下げ

##### 登下降手順と同じ手順

※本製品をアンカーに取り付けてプーリーにロープを巻き掛けたとき、アンチリバースカムと逆側のロープに資材や人が接続されていれば正常です。

MEMO

MEMO

# 定期点検／お手入れ／保管

定期点検 ～ 下記に従い、3カ月ごとに実施してください ～

点検日付： 年 月 日 点検者名：

NSC パワーアッセンダー本体	チェック	判定
NSC パワーアッセンダー全体の傷や凹み状況		
本製品を振ったときの異音		
ベースプレートの状況(こすれ、削れ、ヒビ割れ等がないか確認してください)		
クイックドロースリングの切れ・ほつれ具合 (クイックドロースリングを取り外して点検を行ってください)		
ギャカバーとベースプレートの取り付け状況 (バックカバーのボルト 6 本を取り外して、ギャカバーをベースプレートに固定しているボルトにゆるみがないか確認してください)		
バックカバーの取り付け状況 (取り外したバックカバー固定用ボルトを締め、増し締めしてください)		
フロント及びバックホルンの取り付け状況 (バックホルン側からホルン取り付けボルトにゆるみがないか確認してください)		
フロント及びバックホルンの摩耗状況		
フロントカバーの開閉具合		
フロントカバーラッチの閉まり具合 (フロントカバー内側からラッチ固定ビスのゆるみがないか確認してください)		
フロントカバーヒンジの取り付け具合 (ベースプレート裏側から、フロントカバーヒンジの固定ボルトにゆるみがないか確認してください)		
フロントカバー自体の割れと内側のこすれ具合		
プーリーとベースプレートの取り付け状況 (プーリー正面から視認できる固定ボルトにゆるみがないか確認してください)		
プーリー内部の摩耗状況		
アッパーロープガイド及びプーリーロープガイドの取り付け状況 (アッパーロープガイドはベースプレートバック側から、プーリーロープガイドはベースプレートフロント側から固定ボルトのゆるみを確認してください)		
アッパーロープガイド及びプーリーロープガイドの摩耗状況		
アンチリバースカムベースのベースプレートへの取り付け状況 (ベースプレートフロント側から、アンチリバースカムベース固定ボルトのゆるみを確認してください)		
アンチリバースカムとアンチリバースカムベースの取り付け状況 (アンチリバースカムを指で動かして、スムーズに動くか確認してください)		
アンチリバースカムのロック機構の取り付け状況 (アンチリバースカムロック機構を指で動かしてスムーズに動作するか確認してください)		
アンチリバースカムの摩耗状況		

付属品	チェック	判定
ハンドルとシャフトの取り付け状況 (シャフトをロックしているボルトにゆるみがないか確認してください)		
セットカラーとシャフトの取り付け状況 (セットカラーをロックしている固定ボルトにゆるみがないか確認してください)		
シャフトとリングの取り付け状況		
リングとパワーロープの取り付け状況 (パワーロープに切れこすれがないか確認してください)		
充電ドライバー	チェック	判定
充電ドライバーの正転防止リングの取り付け状況		
充電ドライバーのバッテリーの状況		
充電ドライバーのキーレスチャックとシャフトの取り付け状況 (キーレスチャックの締め付け及びゆるみ具合を確認してください)		
充電ドライバー自体の落下防止処置の状況 (ストラップの切れこすれ、フックの固定ビスのゆるみ、スチール製オーバル型クイックリンクのゲートが確実に閉まっていることを確認してください)		

- ※異常が発見された場合、直ちに本製品の使用を中止してください。墜落する危険があります。
- ※ 十分な知識を持つ適任者が定期点検を行ってください。  
(定期点検の内容及び定期点検を行うために必要な資格は、国や地域における法規や使用状態により変わります。)
- ※ パーツ交換を除き、ケンテックシステムズテック施設外での本製品の改造および修理を禁じます。

## お手入れ

### 付着したゴミを取り除き、乾いた布で拭く

- 水洗いはしないでください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、パーツクリーナーなどを使用しないでください。
- 可動部に注油しないでください。
- 本製品及びギアを分解しないでください。  
(ギアはメンテナンスフリーです。)

## 保管

### 付属のアルミケースに収納する

- 水に濡れている場合は、完全に乾かしてから収納してください。
- 直射日光が当たる場所、車中、水や湿気の多い場所、ゴミやほごりの多い場所、子供の手の届く場所、ガソリンや軽油などの燃料のある場所、化学薬品のある場所は避けてください。

# 諸元表

	性能一覧	結果	備考
本体	重量	4.67kg	充電ドライバー含まず
	サイズ	220×205×85mm	充電ドライバー含まず
	適合ロープ	EN1891 タイプ A セミスタティックロープ 伸び率 3%以内	Teufelberger 社のロープは使用不可
	適合ロープ径	11.0mm	—
動力	動力	別売	充電ドライバー ※インパクトドライバー使用厳禁
	推奨充電ドライバー	Hikoki 製 充電ドライバー DS36DA(2XP) (BSL36A18/2 個)	重量 2.30kg ※ 36V-2.5Ah BSL36A18 装着時
	推奨バッテリー	Hikoki 製 バッテリー 36V-4.0Ah (BSL36B18)	充電時間 約 40 分 ※周囲温度やバッテリーの状態により変動します。
	使用距離	推奨バッテリー使用時 約 300 m / 1 個	100%充電、負荷 0.85kN、気温 20℃
	ギア許容平均入力回転数	3000 回転	推奨ドライバーは最大 2100 回転
	ギア最高入力回転数	4500 回転	—
性能	通常運用荷重	1.35kN	—
	最大運用荷重	2.00kN	レスキュー時のみ使用可能
	上昇速度	0 ~ 15.6m / 分(外気温 20℃)	0.85kN 荷重 ※推奨充電ドライバー及びバッテリー使用時 高速モード
	下降速度	0 ~ 29.0m / 分(外気温 20℃)	0.85kN 荷重
	耐水 / 防塵性	IP55	IEC60529、JISC0920
	騒音レベル	76dB	自社試験・騒音計
	耐用年数	特に設けていません。	—
	保証期間	3 年	保証内容は本書に記載
	使用温度域	-10℃~ 45℃まで	—
	その他	付属品	専用アルミケース 1 個、クイックドロースリング 1 個、ハンドル 1 個、シャフト 2 本、セットカラー 1 個、リング 1 個、パワーロープ 3mm 1.2m 1 本、取扱説明書(本書) 1 冊、使用前点検表 1 枚
連続使用可能距離		500 m(通常運用荷重時)	—
加熱保護		なし	—

※ Hikoki 製 充電ドライバー DS36DA(2XP) の付属バッテリーは「BSL36A18/36V-2.5Ah」です。(推奨バッテリーの「BSL36B18/36V-4.0Ah」ではありません。)

※本製品の入力回転数は、3,000 回転以上で本来の性能を発揮するように作られています。(推奨充電ドライバーの最高回転数は 2,100 回転です。)

※ 本諸元表のデータは、充電ドライバーのメーカー及びバッテリーの違いにより変動します。

# アフターサービス

## 修理

- 修理、取り扱い、お手入れなどのご相談は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- 本製品の修理は、ケンテックシステムズのみで可能です。使用者自ら修理を行わないでください。
- 修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。(保証対象外の場合は、有償修理となります。)
- 疑問点や不明点は(有)ケンテックシステムズ(TEL049-241-8364)にご相談ください。

## 保証

- 保証期間：お買い上げ日から 3 年間
- 原材料及び製造過程における全ての欠陥並びに通常の使用において発生する製品の欠陥に起因する故障のみ、保証の対象となります。(通常の磨耗や傷、酸化、不適切な保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障、分解、改造、落下、本体内部への液体や異物混入、過荷重、不適切な調整、取扱説明書に準じない使用方法で故障した場合は保証対象外となります。)
- 極めて異例な状況において使用した場合、1 回の使用で本製品に損傷が生じ、その後使用不可能となる場合がありますが、保証対象外となります。(劣悪な使用環境、海に近い環境での使用、水没、鋭利な角との接触、極端な高温及び低温下での使用や保管、化学薬品との接触、高圧電線との接触等)
- 本製品は分解できない構造になっていますので、絶対に分解しないでください。分解した場合は使用を中止してください。(ケンテックシステムズによって本製品の分解が確認された場合は、全ての保証対象外となります。)

## 規格

本製品はどの国の規格も取得していません。

(2018 年 12 月現在、パワーアッセンダー自体の規格がどの国にも存在していません。)

## お客様の個人上に関する取り扱いについて

お客様の個人情報は、当社プライバシーポリシーに基づいて適切に管理、取り扱いさせていただきます。詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://kentechsystems.net/privacy-policy2/>

NSCPA 2019.4

---

**有限会社 ケンテックシステムズ**

〒350-1162 埼玉県川越市南大塚 1-24-3

TEL : 049-241-8364

FAX : 049-265-6120

✉ [k-ogura@kentechsystems.net](mailto:k-ogura@kentechsystems.net)

<https://kentechsystems.net>